

入所審査判定要領・成績表

氏名 _____

書類審査

課 目	判 定 要 領	判定
航空経歴(入所審査前の経歴を記入)	ログブックにより必要経歴を確認	
操縦練習許可書	有効期限、単独飛行証明	
学科試験合格通知書	合格年月日の確認	

口述審査

課 目	判 定 要 領	判定
1 運航に必要な知識(AIMの内容の理解)		
1-1 有視界飛行方式 諸規則の適用	飛行空域によるVMC違いを理解しているか	
1-2 航空交通管制の概要、管制圏、管制区の航行	航行に必要な装備などの理解度	
1-3 飛行場標識など	R/Wマーキングなど	
1-4 捜索救難、フライトプラン	飛行計画の意味を理解	
1-5 安全対策(ヒューマンファクター等)	高高度の影響、薬物、G など理解しているか 人間の能力の限界に関する事項	
1-6 報告の義務	機長の義務の理解	
2 航空機事項		
2-1 諸元、運用限界	受審機の基本性能を理解しているか	
2-2 運航形態(重量、バンク角など)の変化による性能への影響	正しく理解しているか	
2-3 飛行高度、温度、風等による性能への影響	〃	
2-4 通常操作及び緊急操作の手順	〃	
3 飛行前作業		
3-1 使用航空機の耐空性の確認	必要書類、整備記録などの確認ができるか	
3-2 適切な重量重心の管理	確実に確認できるか	
3-3 航空情報、空域の理解とノータムチェックの方法	TCA、訓練空域等の確認、NOTAM が読めるか	
3-4 気象情報の解読、ウエザーミニマムの理解	情報を解読でき、飛行の可否が判断できるか	
3-5 滑空機取り扱い	日常点検、取り扱いができる知識経験があるか	

※判定は、レ点とする

実技審査

科 目	判 定 要 領	判定
1 離着陸		
1-1 発航準備	チェックリストによる確実な準備ができるか	
1-2 離陸(横風、強風含む)	安全な離陸 適正上昇角、曳航速度の管理	
1-3 場周経路の飛行	適切な高度、経路で飛行できること	
1-4 基本着陸	安定した指定地着陸(60メートル)	
1-5 横滑りからの着陸	スリップ中危険な姿勢にならないこと、 確実なリカバリー	
2 外部視認目標を利用した飛行を含む空中操作 (2科目以上を指定して実施する、未実施は一表示)		
2-1 低速飛行	円滑で釣り合いの取れた操作	
2-2 失速と回復操作	的確な回復操作、2次失速させない、 旋回中のバンク±10度	
2-3 急旋回	円滑で釣り合いの取れた操作 速度±18km/h、停止方向±10度 傾斜角の維持、	
2-4 最良滑空速度による滑空	大気の状態による適正速度が設定できる 速度±9km/h	
2-5 最小沈下速度による滑空	最小滑空速度 ±9km/h	
2-6 地上目標を中心とした旋回	所定の経路の滑空 柔軟円滑な操作と注意力の配分	
3 ソアリング (可能な時のみ実施、口述でよい)		
3-1 各種ソアリング	基礎的な知識があるか 他機警戒を含む安全対策ができるか	
4 異常時及び緊急時の操作 (口述で確認する)		
4-1 曳航索の追い越し、索切れ、離脱不能 曳航速度の超過・低下 曳航中のポーポイズイング	対応可能な知識・経験があるか	
4-2 諸系統又は装置の故障	異常時及び緊急時の判断及び操作	
4-2 場外着陸	地点の設定と必要な操作 目測及び速度	
4-3 背風着陸	背風着陸操作の説明	
5 総合能力		
5-1 計画性・判断力	安全に飛行でき、予期される危険を回避できる	
5-2 状況認識	状況を正しく認識し、落ち着いて判断できる	
5-3 規則の遵守	規定規則を遵守する能力があること	

※判定は、レ点とする